

## 共生社会×東横線廃線跡地遊歩道利活用実験イベント 「つながる、始まる。」を開催します！

「東横線廃線跡地遊歩道」にて、ユニバーサルデザインの街づくりや心のバリアフリー等の「共生社会」の実現に向けたイベントを開催します。

具体的には、横浜出身のベンチャー企業が開発した電動車いす体験や、パラトリエナーレと連携した作品制作、その他体験型のワークショップを実施します。



東横線跡地遊歩道



本イベントは「共生社会ホストタウン」のプロジェクトとして実施します！  
「共生社会ホストタウン」は、東京2020オリンピック・パラリンピックを契機として、共生社会の実現に向け、ユニバーサルデザインの街づくりや心のバリアフリーの取組を実施する自治体を、内閣官房が登録する制度です。横浜市は、令和元年12月から登録されています。

### 1 イベントの概要

- (1) 日時：10月17日(土) 11:30～15:30 ※雨天の場合10月18日(日)に振替
- (2) 実施場所：東横線廃線跡地遊歩道(桜木町駅西口広場～紅葉坂交差点付近)
- (3) 実施内容：電動車いす WHILL(ウィル)試乗会、パラトリエナーレ作品制作ワークショップ、触って楽しむ参加型展示、飲食・休憩スペース等(別添チラシ参照)
- (4) 主催：横浜市  
協力：NPO法人スローレーベル  
WHILL株式会社



パラトリエナーレ作品制作



WHILL (ウィル)

### 参考) 東横線跡地におけるこれまでの利活用の取組

東急東横線廃線跡地(横浜駅～桜木町駅間)は、「歩行者専用道路」として、段階的な整備・供用が行われています。令和元年度には、初めて高架を含む部分(桜木町駅西口広場～紅葉坂交差点付近)が供用開始となり、都市の新たな魅力ある歩行者空間となるよう、利活用の条件を確認する実験的なイベントを昼・夜の2回行いました。



令和元年度実験のようす

※当日の取材は現地受付に直接お越しください

### お問合せ先

(東急東横線廃線跡地の活用について)

都市整備局都市デザイン室

室長 梶山 祐実 Tel 045-671-2009

(イベントについて)

市民局オリンピック・パラリンピック推進課 担当課長 田中 礼子 Tel 045-671-4585